

建築金物の信頼ブランド

オメガー印 

中大規模対応 柱脚金物Hi-152

施工マニュアル

保護手袋着用

 **注意**

商品を取り出すとき、施工するときは、切断面に触れると手を切る恐れがありますので注意してください。

ハウスプラス確認検査株式会社 性能試験済み
HP20-KT052 短期基準接合耐力 152.0kN (引張)

■使用上のご注意

柱脚金物Hi-152の使用にあたっては、必ず本マニュアルに基づいて施工してください。

柱脚金物Hi-152及びビスは指定の用途以外には使用しないでください。

柱材はヒノキ製材以上、断面寸法120×120mmの木材をご使用ください。

ビスを施工する際には以下の点にご注意ください。

- ・ バッテリー式インパクトドライバーをご使用ください。コード式、エアー式は使用しないでください。
- ・ ビス頭が金物に接するまでねじ込んだ後、増し締めをしないでください。
- ・ 金物面に対して垂直に施工してください。斜め打ちは、しないでください。
- ・ 一度ねじ込んだビスを抜いて、再使用はしないでください。
- ・ 堅木、木材のフシ部分への施工の際は、下穴をあけてからねじ込んでください。

使用箇所・用途

基礎と柱脚の接合に使用します。

※柱脚金物Hi-152専用アンカーボルトM20で固定してください。

接合具

使用数

- 柱………専用ビスφ8×90 (30本)
- 座金……専用丸座金φ60 (2枚)

施工方法

1. 金物上部 (内寸90mm、板長400mm) が入るように、柱脚側面をカットしてください。(図1)
2. 柱脚金物Hi-152をアンカーボルト上に設置し、専用丸座金φ60を2枚重ねてナットで固定してください。
※ロングタイプのM20ソケット (別売) を使用すれば、インパクトレンチによる施工が可能です。(図2)
3. カットした柱を柱脚金物の上に設置し、専用ビスφ8×90でとめ付けてください。(図3)

■取付図例 (単位:mm)



図1: 柱カット例

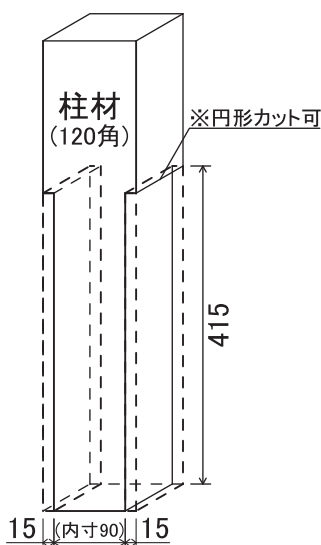


図2: 施工例

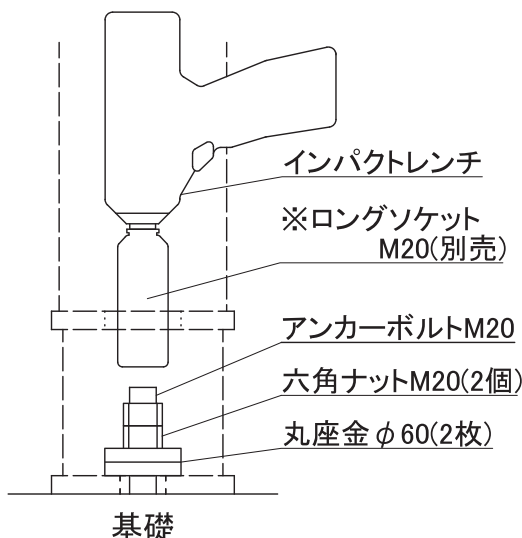
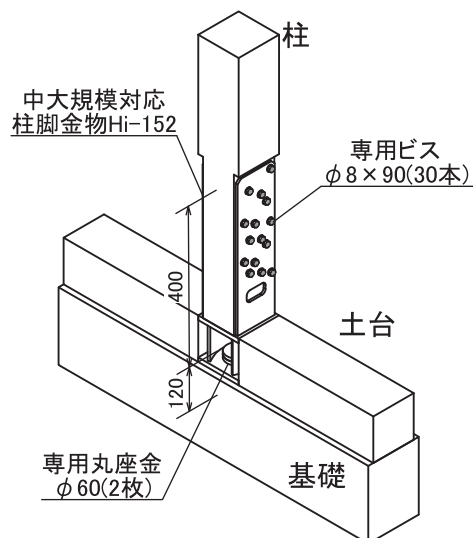


図3: 取付参考図



接合金物の使用方法や納まりなど木造建築金物の施工に関するお問い合わせはこちらまで



株式会社 **タナカ**

(連絡先) CSセンター フリーダイヤル 0120-558-313
(受付時間) 平日 9:00-17:00
<https://www.tanakanet.co.jp/housing>